

館長のガラストーク



三垣祥太郎 lace-vase 2010年



内田 守 壺中天 2011年



ウランと乳白の捻り棒

吹きガラスを主な表現手段とする三垣さんが最近取り組んでいるのはレースガラスの技法です。これは16世紀以降、ヴェネチアで高度に発達した技法で、初期には透明ガラスと乳白ガラスを熱いうちに捻った捻り棒（ホワイト・ツイスト）を作業台に並べて加熱し、その上を熱した透明ガラスの種を転がして巻き取り、吹いて大きくするというやり方で作られました。レースガラスはヴェネチアの特産品として、次第に色や模様、器の形が多様多様になり、華やかなその作品はヨーロッパ中で愛好されました。

イタリア語でフィリグラナ（すかし模様）と呼ばれるこの模様は、手編みのレースのような繊細さが特徴です。現代では世界各地でのワークショップを通して、さまざまな国の若い作家たちがこの技法を身につけることができるようになりました。

三垣さんもレースガラスに魅せられた一人で、溶かし、伸ばし、捻り、つなぎ合わせ、膨らませるその工程の一つひとつに汲めど尽きない愛着を寄せているようです。

このレース模様の花器でも、上下で極端に幅の違う、それぞれ模様の異なった繊細な捻り棒（ホワイト・ツイスト）を、白無地の棒と縦に交互に並べ、中央部と底部にルビーのように鮮やかな赤のガラスを帯のように巻いています。それぞれのパーツが他を際立たせながら、全体として調和のとれた美しい花器に仕上がっています。

なお、美術館1階のアートショップでは、ウランガラスと乳白ガラスを捻って作った、世界的にも珍しいレースガラスが販売されています。三垣さんのレースとウランのレースを比較しながら、それぞれの繊細な美しさを探し出してみてください。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

<展覧会情報> 「岡山のガラス作家たちPart.2-さまざまな意匠」展2012年9月19日(水)~2013年4月1日(月)

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868) 44-7888

「美作国の街道歩き」がスタート

10/30㊦「富たたら製鉄コース」

国指定建造物に指定されている「旧森江家」、たたら展示館や鍛冶屋谷たたら遺跡などの史跡・文化財を巡り、特産品のひらめ料理や、天空の湯のとろ温泉など、参加者は富地域を満喫されました。



11/7㊦「倉吉街道コース」

倉吉街道の整備にあたって作られた新町宿場町、たたら製鉄が行われていた越畑、多くの著名人が訪れた奥津温泉など、津山城下町と伯耆倉吉を結ぶ「倉吉街道」の歴史にせまりました。

また、紅葉真っ盛りの奥津溪を散策。その後は、奥津温泉に浸かり、帰路につきました。



◆開催期間
平成24年12月15日(土)~24日(月・祝)
◆会場
城東むかし町家・旧梶村家住宅
(津山市東新町40番地)

倭文織と現代染織作家の作品展示

古の時代、美作国で発展を遂げたと伝わる幻の織物「倭文織(しずおり)」の復元への取り組みをはじめ、現代で活躍する染織作家の作品展示やワークショップを通じて、美作国地域の染織文化の昔と今を紹介いたします。

美作国の織と色彩展示会・ワークショップ



美作国建国1300年

みまさかのくに

倭文織ワークショップ

幻の織物「倭文織」復元制作の体験講習です。次の3コースから選択できます。

①糸作りから織体験まで(製作物:栗3cm×10cm)

②織体験のみ(製作物:栗3cm×10cm)

③織体験のみ(製作物:コースター15cm×10cm)

◆開催日 平成24年12月15日(土)、16日(日)、22日(土)、23日(日)、24日(月・祝)

◆時間 午前9時30分~午前11時、午後1時30分~午後3時30分

◆会場 城東むかし町家・旧梶村家住宅(津山市東新町40番地)

◆指導 「倭文地区歴史と文化を語る会」保存会

◆参加費 200円

◆お問い合わせ先 〒708-0052 岡山県津山市田町37-5 美作建国1300年記念事業実行委員会

電話(0868)351-3434 FAX(0868)351-3435 E-mail: info@mimasaka1300.org http://www.mimasaka1300.org/



美作国キャラクター「かたみくん」